



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2013.04.29 No.00747

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 04.29】

地区大会
ノバホール(つくば市)

次回のプログラム

【通常例会 05.10】

地区協議会報告
次年度参加義務委員会

4月の主な行事：ロータリー雑誌月間

第746回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
ロータリーソング：奉仕の理想
ゲ ス ト：なし
ビ ジ タ ー：金子博光様、秋田光祥様（龍ヶ崎 RC）

■地区大会2日目
9:00.参加クラブ紹介 9:40.点鐘 (ノバホール)
9:44.開会 RI会長代理挨拶 役員来賓紹介
12:27.記念講演
小惑星「はやぶさ」PM.川口淳一郎
14:20.大懇親会 アトラクション 閉会

会長報告：長友芳郎



いします。

■会長報告
本日は竜ヶ崎RCより秋田様と金子様がお見えになっております。ようこそいらっしやいました。本日のプログラムは横山さんです。よろしくおなが

■地区大会
目的：親睦、感銘深い講演と地区内クラブやRI全般に関する問題の討議によって、ロータリーの綱領を推進することである。RI理事から提出された特別な問題或いは地区内で生じた問題について検討する。ロータリーのプログラムや地区およびクラブの成功した活動を発表する場となり、又、クラブ同士が交流し、対話することを奨励すべきである。その他、会員基盤の維持への高揚、親睦の中に情報提供、規程審議会の立法案の承認提案がある。

幹事報告：川上 勉



13:00.各委員会分科会 15:00.全体会議

■29日の例会は地区大会参加となります。当日7:30に龍ヶ崎市役所北駐車場から車で乗り合わせ出発します。

■地区大会1日目
第2回会長幹事会 8:15.登録開始 9:00.点鐘 分区分現況報告 地区委員会報告 (ノバホール)
12:00 各種委員会 危機管理委員会
本会議 13:00 点鐘、国歌斉唱 地区表彰 紹介挨拶
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ()
17:30 開園 18:00 懇親会 アトラクション

■出席状況

会 員	16 名	出席率	68.75 %
出 席 者	8 名		
出 席 免 除 者	2 名	Make-up	3 名
定款第9条3節a	1 名		

■ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 5 件 10,000 円 (本年度累計 357,000 円)

海老原会員：4月26日の例会は29日に。5月3日は休会。5月5日は地区協議会。以上宜しくお願い致します。

川上会員：金子様、秋田様いらっしゃいませ！
長友会員：秋田様、金子様ようこそ。気温の差が大きいので体調に気を付けましょう。

山口会員：地区大会に久しぶりに参加する予定です。
横山会員：地区補助金の申請が順調のようです。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに
城出 SAA TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。

本日のプログラム

ロータリーの定款と綱領のはじまり

～ロータリーの友から～

この一年、ロータリーに関係するいろんな人物、理念、歴史等を振り返ってみた。さすがにロータリーは奥が深い。新鮮な知識が噴水のように湧き上がってきた。そして、それがとても始末が悪い。彼方此方から勝手に噴出しているので、とりとめもない状態となっている。

そもそも友によると、組織には目的があり、組織が生まれると規則ができる。と述べている。この定款の目的を辿ってゆくと自然に組織のその考え方、方針等の移り変わりが理解できる。当初、互恵関係の親睦クラブから地域社会に対する奉仕が目覚めてくる。

- ①クラブの新設
- ②全クラブの共通の利益の推進
- ③市民としての誇りと忠誠心の奨励
- ④高潔なビジネス方法の推進
- ⑤個人会員の事業上の利益の増大
- ⑥同僚や社会一般のために奉仕したいという意欲を起こすよう会員を鼓吹すること。

国際連合会は 1918 年に 4 点に改正、再び 6 点に改定されたが、1951 年に最も重大な最後の変更が行われた。

ロータリーには「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」という実際ただ 1 つの綱領があると決定されたのがこの時である。 この崇高な目的を固く前面に打ち出した後、ロータリアンが綱領を成就する 4 分野が次のように説明された。

- 第 1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第 2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第 3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第 4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

これまで、この綱領を基本としてロータリーを学ぼうとしているのだが、100 年以上の歴史を経て、段々と文言も考え方も変化しているような気がする。しかし、次年度から和訳が改正されるようであるが、綱領は綱領である。ロータリーとして活動するこの目的が、それぞれ

勝手に解釈され行動されたのでは組織として体を成していないし創始者も望むものではないことは明白である。

1976-77 年度 RI 理事会で採択されたロータリーの定義。「ロータリーとは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業に於いて高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ、世界に於ける親善と平和の確率に寄与することを目指した実業人及び専門職業人が世界的に結びあった団体である。」と述べています。

尚、ロータリー財団の使命は「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。」

どうですか、何か似ていませんか。ロータリーは過渡期であることは間違いなさそうですね。外のロータリアンに「ロータリーは奉仕団体ではなく、奉仕の理想を鼓吹育成する団体だよ！」と話すときポカンとされるか、すぐその話題から遠ざかるを得ない状況に戻されます。現実、ロータリーといえば、新聞報道、雑誌等を見て他の奉仕団体と全く変わらない活動をしています。RI も人道的奉仕に重点を置き、財団の方針がロータリーの方針になっています。

それでは、ロータリーには今後どのように取り組めば良いのでしょうか。まるで、オリンピック競技となった柔道みたいですが、理事会の力があまりにも強くなりすぎたのかも知れません。それは長所短所をそれぞれ持ち合わせていますが、本来の「思い」が段々と遠ざかるような気がして「靴を隔てて痒きを搔く」心境でもあります。

しかし、ロータリーは変わりつつあるのです。我々はロータリーの組織の一員である以上この理念を見失うことなく「温故知新」の信念で向き合う必要があるのです。他の奉仕団体との違いはどうか、人道的な奉仕を行ないつつ奉仕の理想を追い求めるのは可能なのです。ロータリーの歴史的な出来事、綱領、定款、声明等で数々の理念が発せられましたが、どれも無駄なものはありません。今回はそれを痛切に感じ取れる時間でした。

